

令和三年度鹿屋体育大学卒業証書および学位記授与式 学長告辞

本日ここに、鹿屋体育大学卒業証書および学位記授与式を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

卒業証書並びに学位記を授与された皆さんを今までご支援いただきました、ご家族の方々をはじめとする関係者の皆様、誠にありがとうございます。同時に、国立大学法人鹿屋体育大学の教職員の皆様のご薫陶に対して、心からの謝意と敬意を表したいと思います。

昨年に引き続き令和三年度の授与式も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、縮小して開催することとなりましたが、卒業生・修了生をはじめ、参加する皆様の健康、安全を第一に考えた結論であることをご理解ください。

今年度は東京で、一年間延期された夏季オリンピック・パラリンピックが無観客で開催されました。コロナ禍での開催には賛否両論がありました。が、素晴らしいスポーツパフォーマンス、特に我が国の選手の活躍は、社会や国民、中でも閉塞的な日常生活を余儀なくされていた人々に大きな力と感動を与えてくれたと思います。

さて、我が国の法律に「スポーツを通じて幸福で、豊かな生活を営むことは全ての国民の権利である」と謳っておりますが、それはスポーツ活動が人間や人間社会に対してさまざまな価値を持つからだと考え

ます。

その価値を三つ挙げると、一つ目にスポーツには「する」価値があります。競うことにより、人間は身体的、精神的能力を開発、発展させ、追及する喜びや楽しさを享受できることです。そして、適正な強度、頻度でスポーツ・運動することが、体力の維持・増進に役立つことです。二十代を過ぎ体を動かさなくなると、年齢とともに筋力や持久力の低下が顕著になります。

二つ目にスポーツには「見る」価値があります。東京オリンピック・パラリンピックに見られたように、アスリートによって発揮される素晴らしいスポーツパフォーマンスは、見る人に感動と夢を与えてくれます。

また、トップ選手のパフォーマンスだけでなく、例えば、高校球児の真摯なパフォーマンスは見る人を魅了してやみません。

そして、三つ目は、スポーツ大会やスポーツイベントの開催により、地域を活性化できる価値があることです。スポーツ競技大会では、参加する選手だけでなく、運営する人たち、そして、応援する人たちが一体となって大会が盛り上がります。つまり、大会の成功には「する、見る、支える」ことが必要となります。

スポーツの推進・振興には、施設や設備など物的環境が必要です。また、それを準備・運営するための経費も必要でしょう。しかしながら、最も重要なことは選手、指導者、運営者、そして応援者など、人的要素だと考えます。

スポーツの価値を最大限に発揮するためには、それに関係する人が品位、倫理観をもつことが肝要です。世の中のルールを遵守し、さらにはマナーを持って行動できることがよりよい社会人には求められます。本学で、スポーツを「できる」、スポーツを「わかる」、そしてスポーツを「伝える」、そのための知識・能力を修得し、晴れて、本日、卒業証書および学位記を授与された皆さんには、有償、無償にかかわらず、時代に即した倫理観を持って、スポーツ文化を伝える、広めるリーダーの役目を、国内外を問わず、今後、担っていただけることを切に希望します。

青春時代を過ごされたここ大隅の地を、鹿屋体育大学を第二のふるさと思ってくたさだき、皆さんがいつでも、何度でも来訪、来学されることをお待ちしております。

これからも、皆さんが心身ともに健康を維持され、社会のリーダーとして活躍されますことを教職員一同、切に願っていることをお伝えし、卒業証書および学位記授与を祝う告辞いたします。

令和四年三月二四日

鹿屋体育大学長

松下雅雄